



おぢか中だより



学校HP

目指す学校像「共に学び合う学校」「共に支え合う学校」「共に高め合う学校」

目指す生徒像「求めて学ぶ生徒」「思いやりのある生徒」「たくましい生徒」

小値賀町立小値賀中学校

文責：校長 張本 潤

2学期がスタートしました。生徒たちは、1学期の経験や反省を踏まえ、それぞれに2学期の目標や頑張りたいことを考えました。一人一人の「こうなりたい」という思いが詰まった、2学期の抱負を紹介します。

始業式

始業式 生徒代表のこたば

2学期の抱負

1年 ○○ ○○

2学期に頑張りたいことは、1学期の課題だった黙想の仕方と、身の回りの整理整頓です。1学期には、授業の準備ができておらずに黙想の時間になってから教材をロッカーに取りに行く人や、ロッカーや机の中が整理されておらず、どこに何があるのかがわからなくなっている人がいました。

1学期の終業式の○○さんの話にもありましたが、1年生の皆さん。なぜ、この2つのことが大切なのか、その理由を覚えていますか？それは、黙想をすることで、落ち着いた雰囲気の中で授業に入ることができるから。整理整頓をすることで、心や生活の整理にもつながったり、次の授業の準備をすぐに行ったりすることができるからです。何事に対しても、その理由まで理解することで、さらに自主的に取り組むことができると思います。

2学期は、違う課題が出てくるかもしれません。そのような出てきた課題に対しても、一人一人が意識し、それらの課題を克服していきたいです。そのためにも、みんなで知恵を出し合いながら協力していきましょう。また、学習発表会や小中高合同持久走大会、生徒会役員選挙など、初めての行事がたくさんあります。特に、持久走大会は、小学生の時と変わるところもあり戸惑うことも多いと思います。「中学生」という自覚を持ち、お手本となる行動を心がけたいです。

他の行事や日々の授業でも、学級目標である「百折不撓」を意識し、何度失敗しても挫けることなく、それぞれの目標に向けて仲間と協力しながら充実した2学期にしましょう。

私は1学期「周りを見る」ことに気をつけて過ごしました。しかし、時々油断をしてしまい周りが見えていないことがあり悔しい思いをしました。

この反省を活かして私は、2学期に頑張りたいことが3つあります。

1つ目は「周りを見る」ことです。1学期、クラスメイトが困って、助けを求めているときに、私は周りを見ておらず気付けていないことが何度かあり、後悔し悲しい気持ちになりました。周りを見ることは充実した学校生活を送るうえで、とても大切なことだと思うので、2学期は1学期よりも周りを見て過ごします。

2つ目の頑張りたいことは、「礼儀」です。1学期、学校では挨拶をできていましたが、外で町民や観光客に自分から挨拶できないことが、多々ありました。特に観光客は、挨拶をあまり行わない場所から来ている人もいるため、挨拶したらおかしくないかなと自信をなくすことがありました。そのたびに後悔したような気持ちになります。しかし、挨拶は小値賀のいいところだと私は思います。だから、小値賀の良いところをどんどん広げて、小値賀の魅力を知ってもらうためにも、挨拶を積極的に行っていきたいです。

3つ目は「学び愛・支え愛・高め愛」の学級目標を意識して過ごすことです。私は、2学期の目標を考える際に、クラスの課題について考えました。2年生の良いところは、みんなそれぞれ個性豊かで活気に溢れていることだと思います。一方で、普段の生活では全体でうまくまとまらなかったり、遠慮してみんなの前で思っていることをうまく言えなかったりする人がいます。だから、今のクラスで大切なことは学級目標にもあるように「学び愛・支え愛・高め愛」だと考えました。この言葉自体は1年生の頃から意識はしていたものの、2年生になり当たり前にある形だけのものになっている気がしました。しかし、改めてこの言葉を思い返してみると今の自分たちにとっても必要なことだと思いました。みんなで学び、力を伸ばしていくためには、支え合い、助け合うことが必要です。そのためには、「周りを見て気づく」ことが大切だと思っています。「学び愛・支え愛・高め愛」2学期はこの言葉を心に刻んでみんなで頑張っていきましょう。

2学期は、「学習発表会」などの大きな行事があります。しっかり周りをみて、積極的に動いて頑張ろうと思います。そして、「悔いのない」充実した中学校生活にしていきたいです。

私が2学期に頑張りたいことは、2つあります。

1つ目は、修学旅行実行委員としての活動です。修学旅行実行委員は、お世話になる方への挨拶や司会など、人前に立って話す機会が多く、みんなから注目される役目です。私はもともと人前で話すことに苦手意識があり、緊張してしまうことがあります。

しかし、この機会を自分自身が成長できるチャンスだと捉えています。本番で落ち着いて行動できるよう事前にしっかり準備をし、自信を持って役割を果たしたいです。そして、一緒に行くみんなにとって楽しく思い出に残る修学旅行になるよう、責任を持って最後まで仕事をやり遂げます。

2つ目は、すぐに諦めない力を身に付けることです。私はこれまで、嫌なことや「もう駄目だ」と思うことがあると、すぐに諦めてしまうところがありました。例えば、課題で難しい問題があると深く考えずに終わらせてしまい、授業で出てきたときに「こんなの習ったかな」と考えることをやめてしまい、後悔した経験があります。

そのため2学期は、分からないことを先生や友達に聞いたり、自分に合った勉強法を考えたりしながら、最後まで粘り強く取り組みます。困難なことがあっても前向きに挑戦し、最後に「頑張ってよかった」と思えるようにしたいです。実行委員の活動でも思うようにいかないことがあるかもしれませんが、そのようなときこそ諦めず、仲間と協力して乗り越えていきます。

最後に、学年全体として頑張りたいことは「凡事徹底」です。当たり前のことを当たり前に行うのは簡単そうに見えて、毎日続けるのはとても難しいことです。だからこそ、時間を守ることを、挨拶をすること、提出物を期限内に出すことなど、一つ一つの当たり前を大切に、学年全体で意識して行動していきたいです。そして、お互いに声をかけ合いながら、より良い学年をつくっていきましょう。

2学期は、学習や学校行事、日々の学校生活の中で、新たなことに挑戦する機会がたくさんあります。うまくいくことばかりではなく、思うようにいかないことや、悩んだり迷ったりすることもあるかもしれませんが、そうした経験の一つ一つを大切に、仲間と支え合いながら乗り越えていくことが、自分自身の成長につながります。

一人一人がそれぞれの目標に向かって一歩ずつ歩みを進め、新たな自分の可能性を見つけることのできる2学期となることを願っています。そして、学期の終わりに「挑戦してよかった」「成長できた」と振り返ることができる、実りある学校生活をみんなで作っていきましょう。

